

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 570104	みよし悠学カレッジ講座運営事業				主管課名	生涯学習課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	鈴木正憲				
		施策	生きがいを持って楽しく暮らせるまち									
		基本事業	生涯学習講座の充実									
	(1)事業の概要											
	平成11年9月に「みよし悠学カレッジ」を開講し、平成14年に現在の「学習交流センター」を拠点として事業を開始した。平成23年度は127講座を実施し、2,306人が受講した。多様化する住民のニーズや社会情勢の変化に対応した講座の計画と受講機会の幅を広げていく。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
	一般公開講座 生活創造講座 国際理解講座 情報・通信講座 中央公民館の廃止により平成23年度から公民館講座をみよし悠学カレッジ講座運営事業と統合し生活創造講座として開講している。					名 称		単 位				
						講座数		講座				
						講座受講者数		人				
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)					講座内容企画 講師依頼 広報 募集受付 抽選 受講受講者決定 受講料納入 講座開講準備 講座受付 講座運営 調査分析(アンケート) 反省。						
24年度計画		前年と同様 変更あり	変更内容	生活創造講座に官学連携を取り入れた講座を企画する。								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
義務教育終了の市内在住者 (市内)在勤・在学者					名 称		単 位					
					市内15歳以上の人口		人					
					市内への在勤・在学者数(国調流入人口)		人					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
生涯にわたって学習する意欲を持ち、日常生活で取り組んでもらう講座の存在を知り、参加する					名 称		単 位					
					講座申込者		人					
					講座に初めて参加した人数		人					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
学習意欲を持ち講座へ参加してもらう					名 称		単 位					
					生涯学習講座受講者		人					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単 位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		講座	104	127	108	108	108	108				
		人	2,000	2,306	2,347	2,347	2,347	2,347				
(6)の対象指標		人	46,915	46,915	47,577	49,200	49,900	51,000				
		人	21,826	21,826	21,826	21,826	21,826	21,826				
(7)の成果指標		人	2,623	3,190	3,220	3,250	3,280	3,310				
		人	278	220	222	224	226	228				
(8)の結果の成果指標		人	7,018	6,260	6,875	6,875	6,875	6,875				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	09
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単 位	23,762	20,302	21,588	21,157	21,157	21,157				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	9,546	8,480	9,631	9,442	9,442	9,442				
	一般財源	千円	14,216	11,822	11,957	11,715	11,715	11,715				
人件費B		千円	18,204	17,879	17,879	17,879	17,879	17,879				
正職員従事時間×人数		時間×人	400×5	283×4	283×4	283×4	283×4	283×4				
正職員以外の人件費		千円	10,828	13,626	13,626	13,626	13,626	13,626				
その他費用C		千円	355	243	243	243	243	243				
トータルコストA+B+C		千円	42,321	38,424	39,710	39,279	39,279	39,279				
単位あたりコスト		千円/人	1	1	1	1	1	1				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	2	2	2	2	2	2				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	570104	みよし悠学カレッジ講座運営事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	平成11年度			から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			受講生アンケートより「趣味・教養講座」や「現代的課題に関する講座」を求める声も多く、語学講座や情報・通信講座と講座数を調整し住民のニーズに合った講座が開催できるよう検討する。		
市民の生涯学習への意欲の高まりに応えるため						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない		変化し				主管が教育委員会から市長部局へ変更された
変化している		内容				(平成19年度から)。

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
			自治事務	→	根拠法令	なし
					この事務を行う根拠又は理由	みよし悠学カレッジ運営要綱 生涯学習推進基本計画に基づき実施する
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由	
			結びつかない	→		
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容	
			できない	→		
				拡大		
				縮小		
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容	
	できない	→				
		追加				
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
		多少影響がある	→			
		影響はない	→			
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	今の成果水準を維持していく。		
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない	→				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業との再編の可能性	ある	内容	
	ない	→				ない
効率性	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
		ない	→			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容	託児料の見直し	
		ない	→			
		現状で適正				
		検討が必要	→			
		受益者がいない				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	市の施策を生涯学習講座に反映し、「情報化・国際化・高齢化」社会に対応したまちづくりを目指す。 勤労青少年ホーム講座、高齢者公開講座を一緒に案内・募集をすることにより、できるだけ多くの市民に広く周知し受講機会が与えられるよう講座のあり方や企画等の検討が必要。					